

取扱説明書



保証書 株式会社 カスタム			
保証規定 本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。 - 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は無償で修理いたします。 - 本保証書は、日本国内でのみ有効です。 - 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。 - 不適当な取扱い、使用による故障 - 設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障 - 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障 - その他当社の責任とみなされない故障			
型番	ST-01シリーズ	ロット番号	
保証期間 年 月 日より1カ年			
お客様	お名前 様		
	ご住所 電話番号		
販売店	住所・店名		
販売店様へ お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しく下さい。			

このたびは、当社の製品をお求めいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保存されることをおすすめします。
開梱したらすぐにキズや変色など外観上の異常や付属品に欠品がないかを確認してください。
万一、不具合がありましたら購入された販売店までご連絡ください。

本取扱説明書について

本取扱説明書の一部または全部について、写真、複写、検索システムへの保存、または他の言語への翻訳を含む電気的手段、機械的手段、およびその他のいかなる方法によっても、複製または転用することを禁じます。

商標について

- Apple、Apple ロゴ、iPad、iPhone、iPod touch は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Androidおよび Google Play は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Bluetoothのワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 上記以外の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。

安全にご使用いただくために

本器を安全にご使用いただくために、以下の事項を守り正しくお使いください。

	警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
	注意	人が傷害または財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

警告

- 指定の方法、条件以外での使用は絶対に行わないでください。
- 落下や過度の衝撃、振動を与えないでください。
本器を破壊したり重大事故を引き起こしたりする恐れがあります。
- 故障が疑われる場合は使用をおやめください。
使用前に亀裂、破損等の異常がないかを十分確認し、本器の使用中に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。
- 本器の分解、改造は行わないでください。
修理が必要な場合は、購入された販売店にお問い合わせください。
- 本器を加熱したり火中に投入したりしないでください。
破裂による火災、怪我の恐れがあります。
- 危険物、発火物、爆発の恐れがある場所では使用しないでください。
重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 本器を濡れた手で扱ったり、水で濡らしたりしないでください。
感電など重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池の液は舐めないでください。
- 電池の液が目に入ったり皮膚や衣服に付着したりした場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。
失明や皮膚に障害を起こす恐れがありますので、医師の治療を受けてください。
- 電池のプラス、マイナスを針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池がショートした状態になり、過電流が流れたりして電池を漏液、発熱、破裂させる恐れがあります。

- 電池のプラス、マイナスを逆にして使用しないでください。
異常反応を起こし、電池を漏液、発熱、破裂させる恐れがあります。
- 本器が濡れている時や湿気の多い場所では絶対に使用や電池交換をしないでください。また濡れた手で電池交換をしないでください。
感電の危険があります。
- 長時間使用しない場合には、本器から電池を取り外してください。
また使い切った電池はすぐに本器から取り出してください。
電池から発生するガスにより電池を漏液、発熱、破裂させたり、本器を破損させたりする恐れがあります。
- 電池を廃棄する際は、電極にテープを貼り絶縁して市町村の指示に従い、適切に廃棄してください。
- 端子が他の金属と触れると発熱・破裂事故の恐れがあります。また電池を加熱すると破裂する恐れがありますので絶対に火の中へ入れないでください。
- 電池交換後は必ず電池カバー(上蓋)を閉じてから使用してください。
- 損傷や火災事故防止の為、電子レンジなどマイクロ波加熱炉では絶対に使用しないでください。

注意

- 高温や低温のところ、直射日光の当たる場所でのご使用、夏季の車内での放置はおやめください。
- 極端な温度変化のある環境でのご使用は結露の原因になりますので注意してください。
- 冬季の室外での使用は、本体の温度低下により電池の消耗が常温での使用に比べて早くなります。
- 暖房器具などの周辺での使用は、本体のプラスチックの変形・故障の原因になります。
- 本体部分は防水構造ではありません。
絶対に水に浸したり濡れたりしないように十分にご注意ください。
- 本器に付着した汚れは乾いた柔らかい布でふき取ってください。
汚れがひどい場合は薄い中性洗剤溶液を浸し、固く絞った柔らかい布で拭き、その後乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
研磨剤やアルコール、シンナー、ベンジンなどの揮発性溶液は表面仕上げを傷めたり、機能低下や故障の原因になりますので絶対に使用しないでください。

Bluetooth機器について

本器は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。

- 本器を使用する際に、無線局の免許は必要ありません。
- 本器を分解、改造して使用すると、電波法違反になる場合があります。
- 日本国外で使用しないでください。国によって電波使用の制限が異なり、本器を使用した場合に罰せられることがあります。

本器を使用する際の注意事項

本器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用無線局、免許を要するアマチュア無線局、免許を要しない特定小電力無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本器を使用する前に、近くで他の無線局が運用されいないことを確認してください。
- 万一、本器と他の無線局との間で電波干渉が発生した場合は速やかに本器の使用場所を変えるか、機器の運用（電波の発射）を停止してください。
- 不明な点や、その他お困り事が生じた場合は保証書に記載の連絡先までお問い合わせください。

本器は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてDS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

2. 4 D S 1

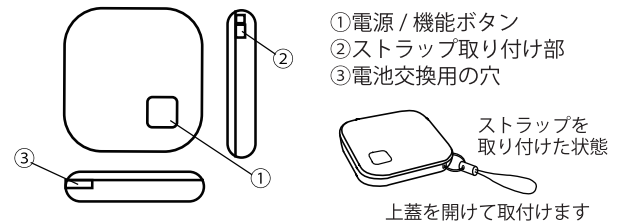
1. 仕様

通信距離	約25m（見通し状態）*1
自動アラーム(ブザー)が鳴る距離の目安	"近い"の設定時：5m～10m "遠い"の設定時：10m～25m
対応OS *2	iOS 8.0 以上、Android4.3 以上
Bluetoothバージョン	4.0以上
最大接続台数	一つの端末で10台まで
使用温湿度範囲	0～+40℃,90%RH以下(結露のないこと)
保存温湿度範囲	-10～+50℃,90%RH以下(結露のないこと)
本体寸法	約 W37×H37×D7 mm
重量	約 8 g（電池含む）
電源	CR2032 リチウム電池 × 1 個
電池寿命	約 6ヶ月 *3 (待機状態)
付属品	取扱説明書、ストラップ、 CR2032 リチウム電池 × 1 個 (試供品)*4

- 最新の情報は弊社HPにて確認ください。
- 本器及びアプリの仕様および外観は、改良の為予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本器の使用において発生した損害などについては一切その責任を負いません。

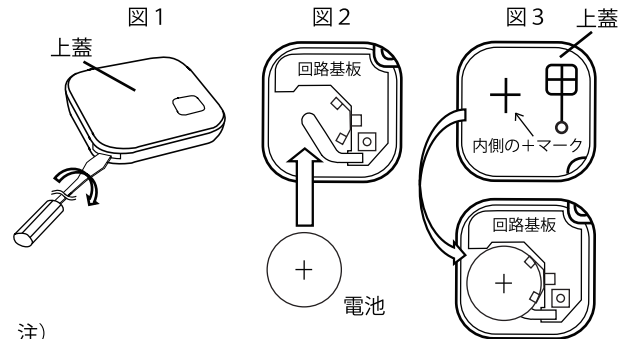
- *1 通信距離は、通信を行う機器の性能やそれぞれの電池残量、周囲の環境に依存します。
- *2 端末やインターネット環境などのお客先固有の環境理由により、ご利用いただけない場合があります
- *3 使用頻度、使用状態により電池の寿命は短くなります。
- *4 本器に付属の電池は試供品です。市販の通常の電池よりも電池寿命が短い事があります。

2. 各部の名称



3. 電池の取り付け/交換

- 本体の上蓋を開けます。（図1）
 - 電池交換用の穴にマイナスドライバーなどを入れ、回転させて上蓋を開けます。
- 電池の極性を確認して、電池を取り付けます。（図2）
 - 電池のプラス側（+）を上側にします。
- 本体の上蓋の向きを確認して、上蓋を閉じます（図3）
 - 外した上蓋の内側の+のマークが電池の位置にくる様に上蓋をかぶせて、上蓋を押し込みしっかりと閉じます。
 - 閉じた上蓋に隙間がないことを確認してください。



- 注)
- 内部の回路基板には手を触れないようにご注意ください。
 - 上蓋の位置が合わない状態で無理に押し込むと、上蓋が閉じなかったり破損する場合がありますのでご注意ください。

4. アプリのインストール

対応OSは、iOS 8.0以上、Android4.3以上です。
最新の情報は弊社HPにて確認ください。

4-1. QRコードを使ってインストールする場合

右記のQRコードを読み取って
簡単にインストール出来ます。

http://www.kk-custom.co.jp/living/ST-01_apps.html



4-2. アプリを検索してインストールする場合

1. お使いになる端末で、
App Store または Google Play から
専用アプリ「TagSearch」を
検索してください。
2. 「TagSearch」を選択して端末にインストールしてください。



TagSearch

4-3. 端末のBluetooth機能をONにする

「TagSearch」を起動する前に、端末のBluetooth機能をONにして、 表示マークが出ている事を確認してください。
(設定方法については端末の取扱説明書をご確認ください。)

5. 本器の電源を入れる / 切る

5-1. 電源を入れる

電源 / 機能ボタンを3秒間長押しします。ピピッとブザー音が2回鳴りましたら、電源が入った状態になります。

5-2. 電源を切る

電源を切る場合は、電源 / 機能ボタンを3秒間長押しすると、ピーと長いブザー音が鳴り、電源が切れます。

本取扱説明書の用語の説明など

端末 : スマートフォン、タブレット
タップ : 画面上のアイコンなどを指1本で軽くたたき操作
フリック : 画面上を指1本で触れて、そのまま上下左右どちらかの方向に滑らせる操作

各画面で、前の画面に戻るには
< をタップします



・本取扱説明書では、端末の画面はAndroidのスマートフォンを使用しています。iOSの端末やタブレットなどの画面とは相違がありますが、基本的な操作の流れは同じです。

・お使いになる端末やOSのバージョンやアプリのバージョン、及びそれらのバージョン変更によって、表示される画面や操作方法や機能などが本書と異なる場合があります。

・インターネット接続の制限設定によっては、一部機能が制限される場合があります。

製品の情報はこちらをご覧ください。

<http://www.kk-custom.co.jp/living/ST-01.html>



6. アプリを起動し、本器と端末を無線接続する

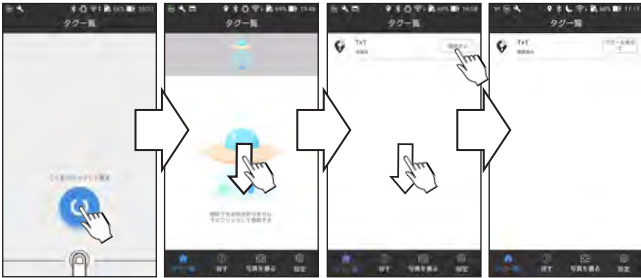
- 6-1. 本器を端末の傍に置いて、本器の電源を入れます。
- 6-2. ご使用の端末のTagSearchアイコンをタップして、アプリを起動します。
- 6-3. 画面マークをタップして、本器と接続をします。(図1)
- 6-4. 接続中の画面が表示されます。(図2)
- 6-5. 「接続する」をタップします。(図3)
- 6-6. 接続が完了すると、「ブザーを鳴らす」になります。(図4)

図1

図2

図3

図4



- ・本器が見つからない時は、図2や図3の画面で再度下にフリックしてサーチしてください。
- ・一度接続したことがある場合は、自動で図4になる場合があります。

本器と端末の通信接続の切断する時は



- 注) ・接続を切ると本器のブザーが鳴ります。
本器のボタンを押すと音が止まります。
・何らかの要因で接続が切れた場合は、再度サーチをするか(図2や図3)、または、アプリを終了して、再度アプリを起動してください。

7. 本器や端末を探す

本器を呼び出す

- ①端末から本器のブザーを鳴らす。
・「ブザーを鳴らす」をタップ
→本器のブザーが鳴る
・「ブザーを止める」をタップ
→本器のブザーが止まる

端末を探す

- ②本器から端末のアラームを鳴らす。
・本器のボタンを素早く2回押すと、
端末のアラームが鳴る。
・端末のアラームを止める時は、
アイコンをタップする。

8. 本器と端末が離れると音が鳴る

本器と端末が離れると、自動でブザーとアラームが鳴ります。
忘れ物や迷子防止に役立ちます。



- ・本器のボタンを押すと、本器のブザーが止まります。距離が離れて通信が途絶えた場合や電波の状態が不安定な場合などには、ブザーを止めることはできませんので、再度近づくか、本器の電源を切ってブザーを止めてください。
- ・端末のアイコンをタップすると、端末のアラームが止まります。
- ・ブザーとアラームが鳴っている状態で、再び近づくくとブザーとアラームは止まります。
- ・距離が離れて通信が途絶えた場合や電波の状態が不安定な場合などには、再び近づいてもブザーとアラームが止まらないことがあります。その時は再度サーチをして接続し直してください。

9. アプリ画面の各種の操作

③本器のアイコンを変更する

④本器の名前を変更する

⑤本器を探す

⑥現在の場所や切断履歴を表示する

⑦アラームを設定する

⑧接続を切る

・上図の場所(空白部分)をタップし、次の右画面で、各項目をタップします。
・本器と接続している時のみ有効です。

・既存の写真をタップする。
・新規の場合は、カメラアイコンをタップしてカメラで撮影する。

・文字を入力する
注) iOSの場合は、
アイコンをタップ
後に文字をタップ
します。

・「探す」をタップして、本器を探します。
・アイコンのタップで、本器のブザーのON/OFFができます。
注) 表示されるアイコンの位置や方向は実際とは異なります。

・アラームの音量
端末のアラーム音大きさの変更
注) 端末がスリープ状態の時は、
端末の音量設定が優先されます。

・アラームの距離
アラームが鳴る時の、端末と本器との距離の設定

・音
アラーム音の種類の選択
注) 端末によっては、いくつかの音が鳴らない場合があります。

アラームの距離の目安
・近い: 5m ~ 10m、遠い: 10m ~ 25m
(端末の性能や状態によって変化します)

・切断履歴をタップする。
・接続が切れた位置と日時を表示します。

注) 端末がインターネットに接続していない場合や位置情報(GPS)がOFFの場合は表示されません。
地図表示がずれている場合は、画面右上のをタップ。

・接続を切ると本器のブザーが鳴ります。
本器のボタンを押すと音が止まります。
・何らかの要因で接続が切れた場合は、再度サーチをするか(図2や図3)、または、アプリを終了して、再度アプリを起動してください。

⑨タグ一覧

⑩探す

⑪写真を撮る

⑫設定

⑨タグ一覧

⑩探す

⑪写真を撮る

⑫設定

⑬タグの詳細

⑭切断履歴

⑮アラーム設定

⑯設定

⑰タグの詳細

⑱切断履歴

⑲アラーム設定

⑳設定

㉑タグの詳細

㉒切断履歴

㉓アラーム設定

㉔設定

㉕タグの詳細

㉖切断履歴

㉗アラーム設定

㉘設定

㉙タグの詳細

㉚切断履歴

㉛アラーム設定

㉜設定

㉝タグの詳細

㉞切断履歴

㉟アラーム設定

㊱設定

㊲タグの詳細

㊳切断履歴

㊴アラーム設定

㊵設定

㊶タグの詳細

㊷切断履歴

㊸アラーム設定

㊹設定

㊺タグの詳細

㊻切断履歴

㊼アラーム設定

㊽設定

㊾タグの詳細

㊿切断履歴

㊿アラーム設定

㊿設定

10. 困ったときは

- 10-1. 端末のアラームが鳴らない。
端末が消音モードになっているなどが考えられます。
端末の設定を変更してください。
- 10-2. 端末と本器が一瞬音が鳴りすぐに止まる時がある。
電波の混信などによりBluetoothの電波が一時的に弱くなったことなどが考えられます。本器の使用場所を変えてください。
- 10-3. 端末と本器が傍にあるのに音が鳴り出した。
端末が省エネモードになる等、Bluetoothがオフになったことなどが考えられます。Bluetoothの設定の確認や端末の充電をしてください。
- 10-4. 端末のバッテリーの消費が早い。
端末のGPS機能(位置情報機能)が動作しているためです。
GPSをOFFにすることで改善します。現在の位置や切断履歴の機能は動作しなくなりますが、それ以外の機能に影響はありません。
- 10-5. 本器が見つからない。
本器の電源が入っていない、端末のBluetoothがONになっていない、電波の状態が良くない、などが考えられます。
- 10-6. 初期状態に戻したい(アイコン部写真や切断履歴を削除など)。
アプリをアンインストールし、再度インストールしてください。
- 10-7. 複数台同時に使用した時に、本器の区別がつかない。
アイコンや名前を個々に設定して区別してください。
- 10-8. 写真を撮る時に、端末の画像が縦長や横長になる。
使用する端末の画面の縦横比の相違により発生する場合があります。撮影された画像は正しい状態になっています。
- 10-9. うまく動作しない時は、以下の内容を試してください。
 - ・アプリを終了させて、アプリを再起動する。
 - ・アプリをアンインストールし、再度インストールする。
 - ・端末の電源を切って、端末を再起動する。
 - ・本器の電源を切って、再度電源を入れる。
 - ・本器の電池を取り外し、再度取り付けるか、または、新しい電池に交換する。